

## 化学療法前に検査値を確認して支持療法を変更した例

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は、化学療法前に検査値を確認して、支持療法の変更を提案することで、安全な薬物療法の提供に貢献できたプレアボイドを紹介いたします。

### 患者背景

▶胆管癌に対して化学療法（GC 療法）目的で外来受診された患者  
GC 療法：ゲムシタピン、シスプラチン  
化学療法前の採血にて、K：5.5 mEq/L

#### 【支持療法（一部抜粋）】

生理食塩液	1L
硫酸 Mg 補正液 1mEq/mL	8mL
KCL 注 20mEq キット	20mL
末梢点滴注射	点滴時間：2 時間



E さん

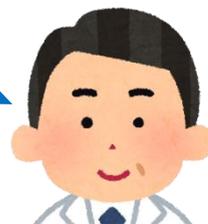
### 外来化学療法施行前



医師

E さんの化学療法の支持療法で、KCL がレジメンに組み込まれており、投与予定となっておりますが、当日の採血でカリウムが 5.5mEq/L と高値のようです。  
KCL の投与により、さらにカリウムが上昇する恐れがあるため、KCL は中止されてはいかがでしょうか。

確かにカリウムが高いようですね、ありがとうございます。  
KCL の投与は中止して、化学療法を行います。  
今から処方を出し直しますね。



薬剤師

ありがとうございます。  
次回の化学療法時にも、カリウムの値を確認しておきますね。

医師への確認後、速やかに KCL の投与は中止となり、化学療法が施行された。  
その後、高カリウム血症や低カリウム血症による症状の発現なく経過し、  
次回の化学療法前の採血にて、K：4.2mEq/L と正常値であった。

化学療法前に検査値を確認することで、支持療法の変更を提案し、安全な薬物療法の提供に貢献できた。